

今、新宿がおもしろい～「新宿 NPO ネットワーク協議会」の活動を紹介します～

認定 NPO まちぼっと副理事長 樋口蓉子

私たち「認定 NPO まちぼっと」は地域社会に住み暮らす市民とともに、地域のいろいろな課題・可能性に気づき、考え、提案、実践していくシンクポット(タンク)です。「ひと・まち社」とは新宿区内の同じビルに事務所を構え連携していますが、NPOとして共々新宿NPOネットワーク協議会」に所属しています。

新宿区内には800に迫る(現在)NPOが存在しますが、支援センターもなく横の連携が少ない状況があり、2006年に新宿区との協働により「新宿NPOネットワーク協議会」が誕生しました。NPO、地域団体等をネットワークで結んで、「新宿」の発展に寄与するとともに、自らも発展できる協議会をめざして活動しています。

2010年度からは、区との協働により「新宿NPO活動交流・支援事業」として、人材(団体)育成のためのNPO活動支援講座、NPOと地域・企業等との交流事業、本庁舎1階のNPO活動情報コーナーの運営等を行っています。その他にも新宿区民活動支援サイト「キラミラネット」の管理運営、市民とNPOの交流サロンなども開催しています。

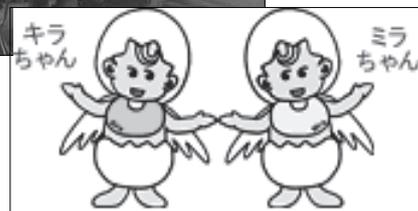
新宿区は繁華街や外国人が多いというイメージの中で古い歴史や街並みも残っており、多彩な顔を持っているまちです。2007年制定の基本構想策定の際には376名という大勢の区民が参加し、近年は自治基本条例の策定を区民・議会・行政の三者

で行い、また、市民討議会の手法を取り入れる等、市民参加や地域自治の実践に意欲的です。一方区内を10の地域に分け、区民の区政参画の場、地域課題解決の場として「地区協議会」を設置し、様々な取り組みがされています。自治基本条例には「区民」の定義に「活動する者及び活動する団体」も含むとされ、私たちNPOも『新宿区民』としての役割を果たすことが求められています。

「新宿NPOネットワーク協議会」は「新宿」の発展に寄与し、継続した活動をめざして、現在「一般社団法人」格の取得の準備を進めています。2年間の検討経過を経て、今日に至りましたが、今後もさらなる発展をめざしてまいります。



市民とNPOの交流サロン「高次脳機能障害とともに」を開催の様子



「キラミラネット」のマスコットキャラクター

市民シンクタンクひと・まち社 第11回総会を開催します

日本大震災後、人のつながりやコミュニティの大切さが見直され、個人や団体も含め、ネットワークしていくことの大切さを痛感しました。福祉サービス第三者評価機関としてのひと・まち社は、今年度対象事業所が増え、あわただしい日々でしたが、利用者に資する事業者評価に努めた一年でした。

また、昨年度より、新たに(仮)「子どもの育ちと子育て支援に必要な環境づくりを明らかにするための調査」の準備を進めてきました。乳幼児を持つ家庭への支援の必要性はもちろんのこと、

親となる前からの働きかけも重要です。子育て中の親の孤立を防ぐことができ子育ての社会化を現実のものとするための調査として進めていきたいと思えます。

特定非営利活動法人
市民シンクタンクひと・まち社 第11回総会

日時：2012年3月16日(金) 18時～19時

会場：ASKビル4階 東京ネット第1会議室

編集後記：東日本大震災と原発事故から1年。この状況を何とかしたいという市民の思いが「原発・都民投票」を求める署名活動に結集した。大きな得体のしれない権力の流れから市民社会へと変わっていくきっかけとなることを願う。(工藤)